

# お天気解説 アキラのズバツと

## 年間降水量を周辺のアメダスと比較

令和8年5月1日

江戸川区気象防災アドバイザー 藤井 聡

今回は江戸川区と周辺のアメダス観測点の年間降水量と比べたらどうなのか考えてみましょう。そこで、江戸川臨海周辺の観測点における平年の年間降水量について気象庁資料を基に図を作成してみました(右図)。

等値線を引くと、東京・埼玉県境付近から1500ミリの線が東京湾北部をよけるようにして千葉県成田市付近に繋がります。さらに、江戸川臨海の周辺には1400ミリ以下の等値線が引けるのです。羽田も少ないですが1400ミリの線を僅かに超えています。また、千葉県北西部はほとんど1400ミリ以上です。このようにして見ると、江戸川臨海の年間降水量だけ周辺に比べ少なく、埼玉県東部から茨城県南西部にかけての年間降水量とほぼ同じです。

低気圧が近づいた時、千葉県から神奈川県にかけては、南からの暖かく湿った空気の影響を東京地方よりも強く受けやすく年間1600ミリ以上の降水量になり、房総半島南部では2000ミリ前後にもなっています。また、神奈川県西部の山地では地形による効果が影響し、2300~3600ミリも降る所もあります。23区東部に位置する江戸川区付近はこうした影響が少なく、東京地方に激しい雨をもたらす夏の雷雲も弱まって通過するので、年間降水量は多摩地方や23区西部よりも少なくなるのです。

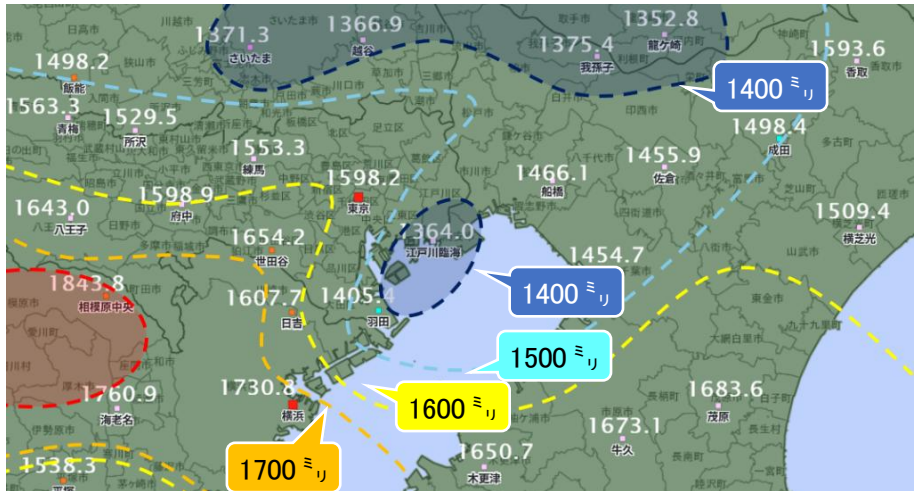


図 江戸川臨海周辺のアメダス等の年間降水量(気象庁HPの図に加筆)

低気圧が近づいた時、千葉県から神奈川県にかけては、南からの暖かく湿った空気の影響を東京地方よりも強く受けやすく年間1600ミリ以上の降水量になり、房総半島南部では2000ミリ前後にもなっています。また、神奈川県西部の山地では地形による効果が影響し、2300~3600ミリも降る所もあります。23区東部に位置する江戸川区付近はこうした影響が少なく、東京地方に激しい雨をもたらす夏の雷雲も弱まって通過するので、年間降水量は多摩地方や23区西部よりも少なくなるのです。

2026年05月01日11時 気象庁 発表				
日付	今日 01日(金)	明日 02日(土)	明後日 03日(日)	04日(月)
東京地方	雨後曇 	晴時々曇 	曇時々晴 	曇時々雨 
降水確率(%)	-/1/50/30	10/0/0/0	20	60
信頼度	-	-	-	B
東京 気温 (°C)	最高	21	27	27
	最低	-	14	15
			(25~28)	(24~28)
			(14~17)	(14~19)

### 東京地方の週間天気予報

(気象庁HPから抜粋)

今のところ、4日以外は晴れか曇りです

クリックすると気象庁による新しい情報が見られます。